

安曇野市のラウンドアバウト整備について

安曇野市 都市建設部 部長 横山 正



朝が好きになる街

安曇野

安曇野市の概要

安曇野市は、平成17年(2005年)10月1日に、豊科町・穂高町・三郷村・堀金村・明科町の5町村が合併して誕生しました。

西部は雄大な北アルプス連峰がそびえ立つ中部山岳国立公園の山岳地帯であり、燕岳、大天井岳、常念岳などの海拔3,000メートル級の象徴的な山々があります。

北アルプスを源とする中房川、烏川、梓川、高瀬川などが犀川に合流する東部は、「安曇野」と呼ばれる海拔500から700メートルの概ね平坦な複合扇状地となっています。



【参考データ】

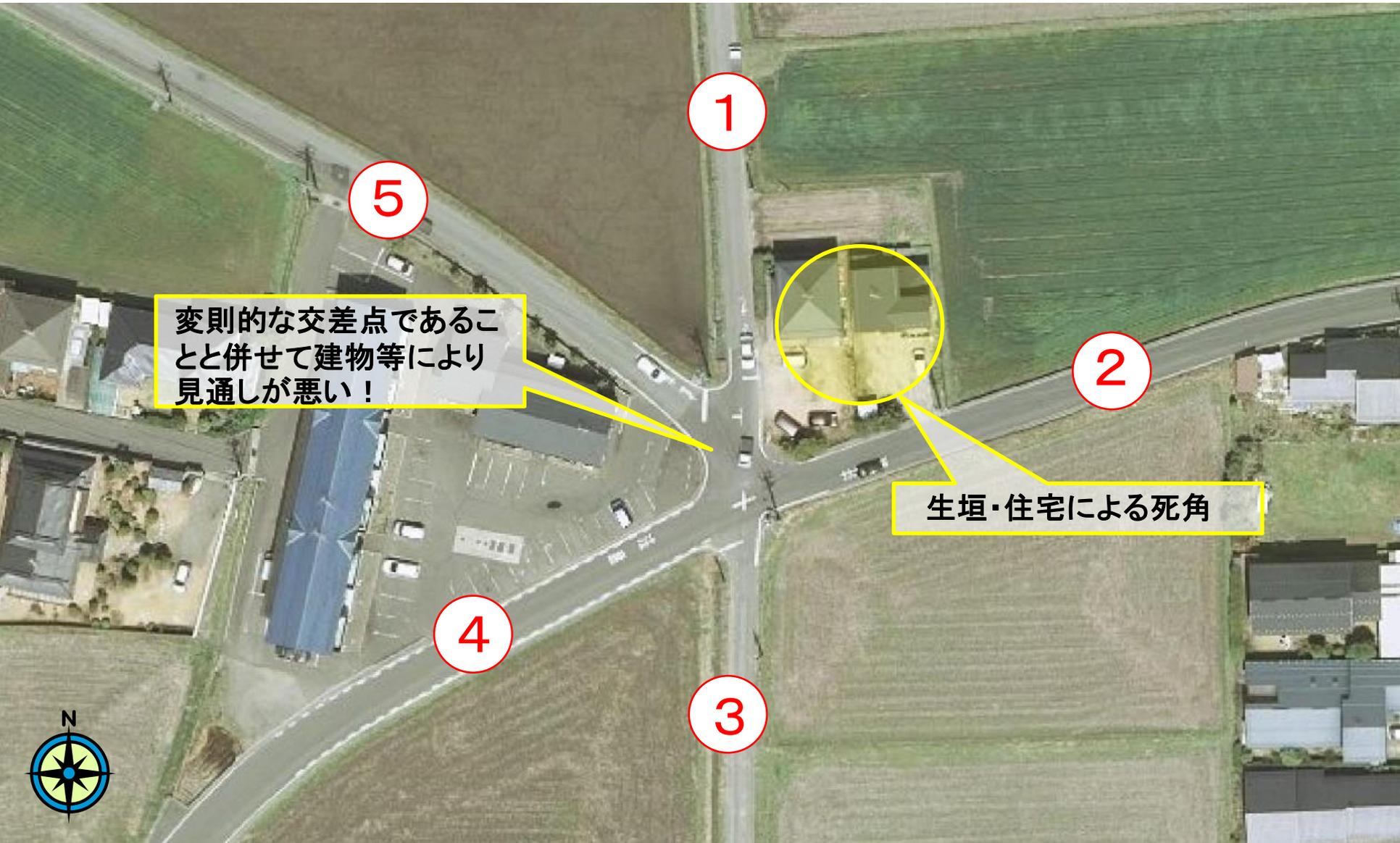
人口・世帯数	【人口】98,425人(男47,749人/女50,676人) 【世帯数】38,291世帯 ※平成27年4月1日現在
面積	331.78平方キロメートル
市の位置	・北緯 36度18分14秒 ・東経 137度54分20秒 ・標高 547.61メートル ※以上、安曇野市役所(本庁舎)の数値
合併前の町村名	・長野県南安曇郡 豊科町/穂高町/三郷村/堀金村 ・長野県東筑摩郡 明科町
水稻の収穫量	19,300トン (県内1位)
製造品出荷額等	4,000億円 (県内4位) ※平成25年(2010年)工業統計調査結果報告書より



位置図

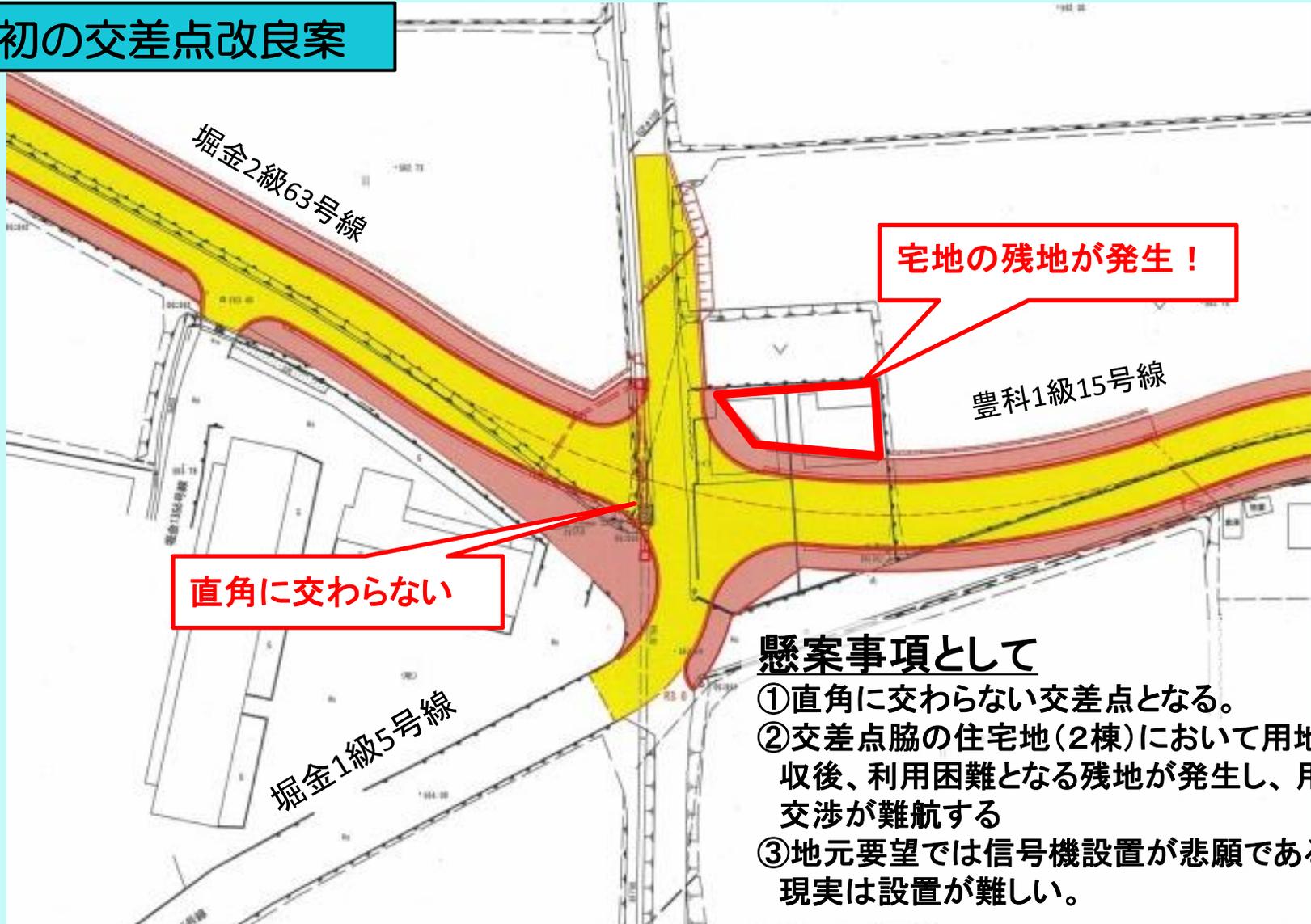


改良前



ラウンドアバウトを採用するに至った経緯

当初の交差点改良案



懸案事項として

- ①直角に交わらない交差点となる。
- ②交差点脇の住宅地(2棟)において用地買収後、利用困難となる残地が発生し、用地交渉が難航する
- ③地元要望では信号機設置が悲願であるが現実には設置が難しい。

ラウンドアバウトを採用するに至った経緯

ラウンドアバウト改良案



改善できたこと

- ①直角交差する必要がないので現状の交差点位置をそのまま利用できる。
- ②住宅地(2棟)の用地全てを有効利用できた。
- ③ラウンドアバウトを採用したことで信号機設置が必要なくなった。

完成後

住宅(2棟)の移転により見通しも良くなり、土地の有効な利用が図れた。

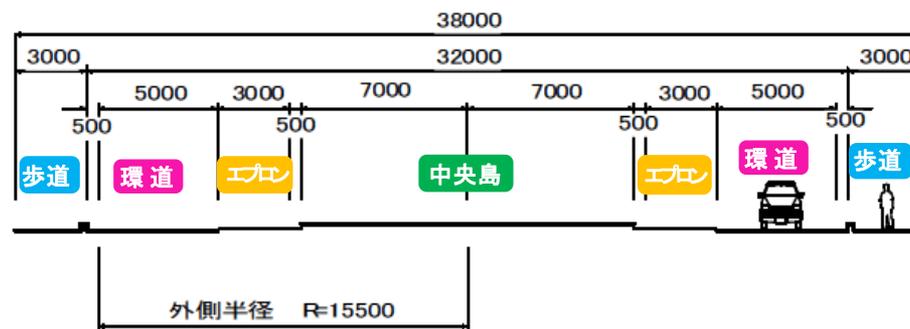
5枝の交差点から4枝の交差点に改良



安曇野市ラウンドアバウト交差点計画平面図



ラウンドアバウトの計画断面図



構造・規格の決定について

(1)環道外径

設計方針を踏まえ、交差点部の走行軌跡の確認結果から、外径は32mとした。

(2)環道幅員及びエプロン幅員

走行軌跡の確認により環道幅員を $W=5.0\text{m}$ 、エプロン幅員を $W=3.0\text{m}$ とした。

(3)路肩

環道部路肩、エプロン部路肩を $W=0.5\text{m}$ とした。

(4)中央島

走行軌跡の確認から中央島は $D=14.0\text{m}$ とした。

平成27年4月15日開通式



ラウンドアバウト交差点について

利用するみんなが交通ルールを守り
安全に十分気を付けて通らしましょう!

『ラウンドアバウト』ってなに？

ラウンドアバウトとは信号機の無い「円形交差点」のことです。
車両は交差点に入る前に必ず徐行し、時計回りで進みます。



どこにあるの？



拡大図



上から見るとこんな形です



円形の
交差点です!

ラウンドアバウトの走り方 走り方 渡り方

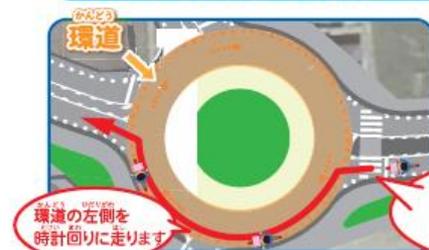
ラウンドアバウトの自動車・二輪車の走り方



- ラウンドアバウトに入る前には、必ず徐行し安全確認をします。
 - 環道(かんどう)を走っている車が優先して走ります。
 - 横断歩道者がいるときは、歩行者が優先です。
 - 環道は時計回りの一方通行です。反対回りや駐車・停車、バックをはいけません。
- 【方向指示器(ウィンカー)の出し方】
環道から出る際は、直前でウィンカーを出し、行きたい方向の路線へ出るまで出し続けます。



ラウンドアバウトの自転車での走り方



- 自転車は道路交通法上「車両」の一種と位置づけられており、車道通行が原則で車道の左側に沿って通行しなければなりません。しかし、小学生のみなさん(13歳未満)、70歳以上の高齢者、身体の不自由な方は歩道を走ることができます。



ラウンドアバウトの渡り方(歩いて渡るとき)

横断歩道の渡り方



歩行者は右と左をよく見ながら注意して渡りましょう





安曇野市都市建設部